

企業立地

事業内容に合わせた立地環境を提案

釜石市の産業構造

鉄鋼業・はん用機械器具製造業・食料品製造業を主体とし
各業種の促進、人材育成に取り組んでいます。

●釜石市内の製造品出荷額等 (1,470億円) の業種別比較

業種	出荷額等 (億円)	割合 (%)
鉄鋼業	691.9	47.1%
食料品製造業	193.3	13.1%
はん用機械器具製造業を含むその他の業種	584.8	39.8%

経済構造実態調査 (2023年実績)

釜石市の優遇制度

釜石市では、雇用の場の拡大を図るため、
新たに立地する企業に対し、優遇措置を講じています。

●釜石市企業立地奨励措置要綱に基づく優遇制度

市内に工場等を新増設する企業に対し、**最大3億円**を助成します。



土地取得補助金と工場等取得補助金は重複利用できません。

補助対象業種	製造業、ソフトウェア業、植物工場 ^{※2}	道路貨物運送業、倉庫業、こん包業、卸売業
固定資産投資額	5,000万円以上	5,000万円以上
雇用人数	3人 固定資産投資額が1億円以上の場合は5人	3人 固定資産投資額が1億円以上の場合は5人
補助率	30%	30%
補助金額	最大3億円	最大1.5億円

※1 岩手県知事が指定する市内特定区域内に工場等を新増設し、かつ、当市に住所を有する方を新規従業員として3人(固定資産投資額が1億円以上の場合は5人)以上雇用した場合、企業立地奨励金の交付は5年間で限度となり、最初の交付から3年間は固定資産税に相当する額の100%以内の額を、その後の2年間は50%以内の額を交付します。

※2 植物工場の補助要件については、別途お問い合わせください。

岩手県においても、税制上の優遇措置や融資、補助金などの優遇制度を講じています。

釜石の魅力って??



年間を通じて 過ごしやすい気候

「東北の冬は豪雪で寒さが厳しい…」
「近年の夏はどこも猛暑で大変…」そんなイメージをお持ちではありませんか？
夏は心地よい海風が吹き抜け、一方で、冬は驚くほど雪が少なく、県内でもトップクラスに温暖な地域です。冬期の雪による物流寸断、通勤トラブルのリスク軽減など、企業の安定した事業継続にも大きく貢献します。

釜石市から広がる 無料の高速交通網

釜石市は、釜石 JCT を結接点として西に釜石自動車道、南北に三陸沿岸道路が広がっており、三方を無料の高速交通網で囲まれたエリアです。交通の要衝となっている釜石市の通勤圏人口は…

なんと約 **32万人** です！
車で1時間程度でお越しいただける範囲は、西は北上市、北は宮古市、南は宮城県気仙沼市までとなっております。

ものづくりの 街の人材

釜石市は古くから続く鉄鋼業を中心に、近年は機械器具製造業が発展し、海と山に恵まれたロケーションから食料品製造業も盛んで、ものづくり産業が集積する街です。産業人材の輩出においても進出企業から高い評価を得ており、約170年に及ぶものづくり文化によって培われた人材こそ、釜石市にとってかけがえのない重要な経営資源です。

釜石港

皆様から選ばれる港に

～元気印日本一「ポートオブ・ザ・イヤー2019」受賞港～

釜石港は、週3便のコンテナ定期航路により、世界とつながる国際流通港湾です。東北横断自動車道釜石秋田線と三陸沿岸道路との結節点に位置し、岩手県全体の流通拠点として重要な役割を担っています。

海外・国内への配送コストの見直しは釜石港へ

～最大500万円のコンテナ利用奨励金制度があります～

利用奨励金

100万円／年
1本目～50本目
(1本当たり2万円)

+

大口荷主奨励金

400万円／年
51本目～250本目
(50本1口100万円として4口)

=

**最大
500万円!**

週3便のコンテナ定期航路

～釜石港から世界の港へ～

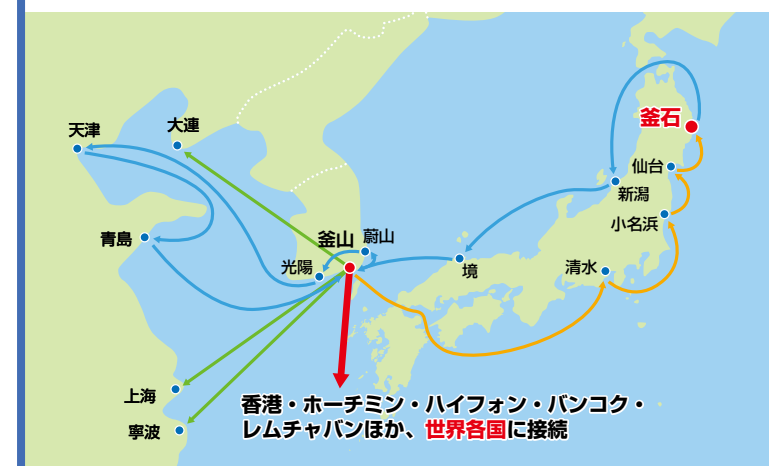
国際フィーダーコンテナ定期航路

寄港間隔：週2便(金、土曜日) 寄港地：京浜港～釜石港
サービス船会社：OOCL、SITC、COSCO
運行船会社：井本商運(株)、(株)横浜コンテナライン
代理店：日鉄物流(株)北日本支店



外貿コンテナ定期航路

寄港間隔：週1便(水曜日) 運行ルート：釜山港～釜石港
サービス船会社：NAMSUNG、MSC、OOCL
運行船会社：南星海運(株)
代理店：日鉄物流(株)北日本支店 ※運行ルート変更の可能性有り



充実のコンテナ受入体制

- ・冷凍冷蔵貨物に対応したリーファー電源58口完備!
- ・危険物コンテナヤード完備!
- ・動植物検疫指定港!
- ・高規格幹線道路によりアクセス良好!



コンテナ輸送に関する事は、お気軽にお問い合わせください!